

令和3年度 第1回千代田区図書館評議会 議事要旨

【日時等】

- 〈実施日〉 令和3年7月28日（水） 14:00～15:08
〈場 所〉 千代田区役所 8階 第3委員会室
〈出席者〉
- 評議会委員（7名）
 - 野口 武悟（会長） 鵜田 拓哉（副会長）
 - 高山 剛一 木原 一雄
 - 塚田 恭平 福山 伸隆
 - 北島 敦子
 - 区立図書館指定管理者（3名）
 - ゼネラルマネージャー 宮尾 賢一
 - 千代田図書館長 小出 元一
 - 日比谷図書文化館長 大島 康平
 - 事務局
千代田区文化振興課長 大塚 立志 他3名
- 〈欠席者〉
- 評議会委員（1名）
 - 丸山 郁太郎

【資料】

—当日配付資料—

- 1 令和3年度第1回千代田区図書館評議会議事次第
- 2 第8期千代田区図書館評議会委員名簿
- 3 千代田区図書館評議会設置要綱
- 4 令和2年度新型コロナウイルス感染拡大に対する図書館運営の対応
- 5 千代田区図書館評議会 令和2年度図書館評価シート（差替）
- 6 令和2年度 千代田区立図書館年報
- 7 令和2年度 千代田区立図書館活動報告

—事前配付資料—

- 8 千代田区図書館評議会 令和2年度図書館評価シート
- 9 令和2年度の評価方法について

【次第】

- 1 開会
文化振興課長挨拶
- 2 議題
令和2年度千代田区立図書館運営の評価について
- 3 連絡事項
次回日程

【議事経過】

1 開会

<文化振興課長 挨拶>

- (1) 文化振興課長より挨拶と第8期千代田区図書館評議会委員の委嘱内容の説明を行った。
- (2) 第8期に入ったことから、各委員・ゼネラルマネージャー・各図書館長より、自己紹介を行った。
- (3) 第8期に入ったことから、委員の互選により、会長に野口武悟委員、副会長に鴫田拓哉委員を選出した。
- (4) 令和2年度の評価について、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う評価の視点、評価シートの改定した部分について説明した。

2 議題

<令和2年度千代田区立図書館運営の評価について>

会 長： 改めて今期もどうぞよろしくお願いいたします。

令和2年度の実績・実施状況、図書館（指定管理者）の自己評価が記載されている評価シートを配付している。まず、図書館から実績・実施状況、自己評価について簡単に説明をお願いしたい。質問は、説明のあと時間を取ることとする。

ゼネラルマネージャー： それでは具体的な評価シートに入る前に総論的な部分を簡単に説明する。

令和2年度の総括となると、新型コロナウイルス対策が必ず付いてくる。参考資料の「新型コロナウイルス感染拡大に対する図書館運営の対応」にもあるように、1年間に2回の緊急事態宣言を踏まえ、サービスの制限をかなり行った。入館者数の制限を大きな目的として閲覧席の座席数の制限を行い、1年間で定員の50%以内で開館した時期が約6割、70%以内で開館した時期が2割、全く人を入れない休館の時期が2割という図書館運営を行った。

また、緊急事態宣言中には、普段と異なる開館方法等を利用者に迅速に周知することを第一にサービスの制限を実施した。全体的には大過なく運営を行ったと考えている。千代田区立図書館では区からの情報提供と迅速な政策決定が非常に大きな良い結果を生んだのではないかと感じている。入館者への対策として、マスク着用、手指消毒、検温、入館票の記入を利用者にお願いしたが、全体的には大きなトラブルにつながることもなく、適切に対応することができ

た。入館者は大幅に減少し、平常時の約6割減。本の貸出数は平常時の約3割減に留まっており、休館中でも予約貸し出しを実施した結果が表れていると考えている。

ステイホームで顕著に数値に表れた項目として、レファレンス・読書相談の電話での件数が非常に増え、対応は大変だった。さらにWeb図書館の資料の貸し出しも非常に増えている。一方、Web図書館第1号の公立図書館は千代田図書館であるが、その当時とWeb図書館が大きく変わっていない。改めてニーズも増えていることから、今後、検討しなければならない課題であると認識している。また、千代田図書館の内務省委託本や日比谷図書文化館の内田嘉吉文庫という千代田独自の資料があるが、利用しやすいようにデジタル化も視野に入れていく必要があると考えている。

指定管理者として5年目となり、5館1体で企画・広報・展示物に一体感のある事業ができるようになってきた。特に展示に合わせて関係書籍を面陳列したことが効果的で、資料の貸出数が伸びた実績も出ている。児童関係では学校図書館が閉鎖していたこともあり、児童資料貸出数はコロナ禍でも比較的高い数値であった。おはなし会などのイベント関係はかなり制限をせざるを得ないこともあり、今後ひと工夫が必要である。コロナ禍で入館者数は大幅に減少したが、平常に戻った時に慌てないように準備を進めていくことと、これを機会に新しい図書館の方向性も考えていく必要があると考えている。

千代田図書館長： それでは、千代田図書館・四番町図書館・昌平まちかど図書館・神田まちかど図書館について説明する。

まず「千代田ゲートウェイ」は、コロナ禍でイベント・講座などが中止になり件数が減ったことに伴い、ニュースリリースの発信回数も減少している。ただし、取材対応件数は増加している。また、企画展示資料貸出数は非常に好評であった。案内方法により利用者の反応がかなり違ってくることを今回勉強させられた。

次に「ビジネスを発想するセカンドオフィス」は、難しい部分であったが、年度末にビジネス書評サイトの「ブックビネガー」と連携をして書棚を新設した。それと同時にウォール展示では今期の実績になるが、予想をはるかに上回る反応があり、千代田図書館はビジネスに対するニーズが非常に強いことを再認識した。データベース利用件数がコロナ禍でも多かった理由としては、利用者からのお問い合わせに基づいて、職員がデータベースを利用して調べるといったケースが非常に増えたことによる。図書館にとっては特徴的であり、回答に対する職員のスキルは高いと自負している。反省点としてはデータベース席の利用時間を当初1回30分、1回延長可としたのち、1時間に延ばそうとしたが、変更できずにきてしまったことがある。

続いて「区民の書齋」では、郵送貸出件数が非常に高い数値であった。もともと図書館に来ることができない人のためのサービスであったが、コロナ禍では利用しやすい状況になったということである。また、Web図書館貸出件数は増加しているが、一方でナクソスはこれから利用件数を伸ばしていくために、積極的な周知方法の検討が課題である。

続いて「クリエイトする書庫」では、蔵書回転率の四番町図書館は突出した数値になっているが、移転に伴って蔵書が減った影響で一時的なものである。

続いて「ファミリーフィールド」では、おはなし会の神田まちかど図書館は小学校の図書室を会場としているため、現在閉鎖されている影響で実施できない状況が今も続いている。子ども読書調査における中学生の不読率は増えているが、評価シートの数値に出ていない電子図書を読んだことがある子どもも10%ぐらい増えている。しかし、不読率との兼ね合いを調べ切れていない。次回以降、留意していきたい。

日比谷図書文化館長： それでは、日比谷図書文化館について説明する。

まず「千代田ゲートウェイ」では、Facebook・Twitterでの情報発信回数が多い理由として、特にコロナ禍においてTwitterでの情報発信に努めた結果である。オリンピック・パラリンピック関連企画数は先が見えない状況から企画を控えた結果である。

次に「ビジネスを発想するセカンドオフィス」の日比谷カレッジは、実施した企画数・参加者は減少したが、満足度は高かった。データベース利用満足度の利用者アンケートでは、演劇・囲碁などの雑誌や海外新聞を入れてほしいという要望があった（配付資料・図書館年報 P89 参照）

3番目の「区民の書齋」のレファレンス・読書相談件数は、図書館全体で対応しているため、在住する地域の図書館で対応し、高度の案件は中央館である千代田図書館で対応した結果を反映している。

次に「クリエイトする書庫」の特別研究室モーニングセミナーは、コロナ禍の影響もあり一部リモートを利用して実施した。特別展は2回開催したが、来場者の満足度は高い数値を維持している。

「ファミリーフィールド」は対象外のため次に進む。

最後に「管理運営等」は、入館者数は減少しているが、職員対応満足度は例年並みの数値を維持している。

会 長： それでは各コンセプトについて委員から質問・意見があればお願いしたい。

【①千代田ゲートウェイについて】

委 員： 千代田はブログ、日比谷はSNSを活用して広報活動を行っているが、どちらも効果的だという判断ができれば、どちらかに統一していくことは考えられないか。

ゼネラルマネージャー： 日比谷は日比谷カレッジを、年間を通して実施しており、こまめにSNSで広報している。特徴を捉えて使い分けを行っている。

【②ビジネスを発想するセカンドオフィスについて】

委 員： 緊急事態宣言を受けて定員（座席数など）を減らしているが、現状の定員を修正し分母として、利用席数の利用率を出した方がわかりやすいのではないかと。対前年比だけではマイナスになるのが当たり前。何十%までであれば、前年並みの数字であるとした方がわかりやすい。

ゼネラルマネージャー： あらかじめ利用時に申し込みが必要な部分などは把握することも可能だが、それ以外の一般の閲覧席は、どこで入れ替わっているのかわからないため、今回数字は出していないが、もう少し説得力のある数字が必要であれば検討する。

委員： キャレル席・電源付閲覧席の利用件数は、客観的にわからない。

千代田図書館長： 全体的に席数の35%~40%を定員にしているため、おおむね40%を超えていれば前年度よりは良い。

会長： 今回は実績値での評価は行わない。ということになっているが、数字は参考として見てしまうことはある。次年度以降、コロナが収束したあとの評価の際にその視点を活かしていく。

副会長： 実施状況で日比谷の新聞・雑誌の種類に不満があったと報告があった。これはデータベースの項目に記載してあるが、データベースではなく、あくまでも新聞・雑誌の種類ということで、受け止めて良いか。

日比谷図書文化館長： はい。そのとおりである。

【③区民の書齋について】

委員： 郵送貸出件数がかなりの件数になっているが、予算的には大丈夫か。

千代田図書館長： 予算の範囲内であるので、大丈夫である。

委員： 今年も要望が多いのではないか。

ゼネラルマネージャー： 現場からの課題は挙がっている。やりくりをして対応する。

会長： 郵送貸出は視覚障害者には、点字と録音は無料になっている。それ以外の対象者に郵送すると有料になる。その割合がどうかということになる。

会長： Web図書館の貸出件数の伸び率が非常に大きい。全国から関心が待たれている。全体的に数字が減っているものはコロナ禍の影響であることは明らかで、逆に増加しているものは利用者がそこに流れている。増えている部分に関しては、今後コロナが収まった後も、その伸び率を維持する戦略を持っておく必要がある。一時的に電子図書館に流れているのではなく、恒常的に紙も借りるし、電子も借りるというハイブリッドな利用スタイルを区民に持ってもらうことが重要と考えるが、何か戦略はあるか。

千代田図書館長： 千代田では出版社や取次会社と連携をして常に情報交換している。一時的なものではなく、今後、電子図書館が何かブレイクする時にいち早く対応できるような環境を常に持つ必要があると考えている。電子図書館が進んでいる大学図書館とも連携をしている。

会長： 千代田図書館はデジタルアーカイブに取り組まれているか。

千代田図書館長： 千代田セレクションというものがあり、デジタル化しているものはあるが、この項目には出ていない。

会長： 項目として、評価に入れても良いのかも知れない。

【④クリエイトする書庫について】

委員： モーニングセミナーで一部リモートを取り入れながら実施しているとあるが、実施方法など工夫したことはあるか。

日比谷図書文化館長： 一般的な実施方法で行った。

委員： 一方通行で行っていたものから、チャットで質問出来たりなど進化しているリモートもあるので質問した。

ゼネラルマネージャー： 会議体はリモートが増えているが、講座自体は著作権や個人情報保護の問題に制限があるため、まだリモートを進めていない。モーニングセミナーはチャット形式を取り入れてメールでやり取りをしている。リモートとは種類が違う。リモートによる講座は今後の課題である。

【⑤ファミリーフィールドについて】

会長： 子ども読書調査における不読率は、デジタルの影響も考えられるが、一方、緊急事態宣言を受けての休校期間があり、学校図書館で本を借りられなかった状況が生じたことも要因と考えられるが、考慮されたか。

千代田図書館長： 学校図書館で本を借りられなかった影響もあると思われる。

今の中学生年代は紙の本を読むのが読書で、電子書籍を読んでもそれを読書と考えていない。ということがあれば、アンケートの方法も注意していかなければいけない。

会長： 昨年、文部科学省で子どもの読書調査研究に係わった。テーマが電子書籍だったが、国でも子どもの読書と電子書籍の関わりに注目している。今後、調査項目に取り入れて実態の把握をお願いしたい。

【⑥管理運営等について】

(質疑無し)

【全体を通して】

会長： 評価の際には、参考資料の「新型コロナウイルス感染拡大に対する図書館運営の対応」も併せて参照していただきたい。コロナ禍という事態への初めての対応で図書館が試行錯誤しながらサービス提供したことが良くわかる資料になっている。

委員： コロナ禍の状況で、勤務している職員はどう受け止めているか。

千代田図書館長： 一般に言われていることを守り、淡々と勤務している。感染者はほとんど出していない。

日比谷図書文化館長： 臨時休館中に、この機会を利用して業務改善に取り組む職員もいた。

委員： 利用者からの反応や意見はあったか。

日比谷図書文化館長： 入館時の検温でトラブルもあった。日比谷ではトラブル時の対応や丸の内警察へ連絡する体制を整えているが、大部分の利用者にはコロナ対応を理解してもらっている。

【最後に】

会長： 評議会委員の評価については、後ほど事務局より記入用のシートをメールで送付する。総合評価・自由記述の箇所を事前配付した「評価の方法」を参照しながら記入し、8月末までに事務局へメールで提出をお願いしたい。

3 連絡事項

文化振興課長： 次回、令和3年度第2回の図書館評議会は10月下旬の開催を予定している。詳細については事務局より追って連絡する。

以上で第1回千代田区図書館評議会を閉会とする。